



平成24年度 志津地区「平和祈念戦没者追悼式典」を挙行！

去る8月4日（土）、志津地区「平和祈念戦没者追悼式典」を、緑豊かで閑静な志津小学校校庭の『忠魂碑』前で挙行了ました。戦没者ご遺族をはじめ、来賓および地域の皆様とともに、戦没された方々の霊に追悼の誠を捧げ平和を祈念しました。



平成24年度 志津地区 「敬老のつどい」を開催!

本年度は従来からの計画を見直し、より多くの皆様が気軽に参加できるよう、9月17日の「敬老の日」を中心に各町内会主体による開催となりました。
当日は、ゲームやアトラクション、会食などを通じて親睦の輪が広がりました。



第60回

志津地区区民運動会を実施!

さえ渡る秋空のもと、去る10月21日（日）午前9時より志津小学校運動場において、区民運動会を実施しました。

今回は、第60回を記念し、『志津地区まちづくり協議会』の会旗を先頭に力強い入場行進で始まり、「おやつレース」や「混合綱引」、「町別団体代表者レース」などの競技に、参加者は、いい汗を流す1日となりました。



入場行進



玉入れ



綱引き



徒競走



パン食い競争

表彰

総合優勝	笠井町町内会
総合2位	青地第二町内会
総合3位	ロクハタウン自治会

わがまちのワンポイント紹介

旭 町

旭町町内会と称していますが、住居表示では岡本町になります。戸数18所帯の小さな町です。あまりにも小さな町内会のため、色々と問題も多く岡本町に加入することを希望しております。

ワンポイントと言っても、ほとんど何もありませんが、しいて言えば数年前に造られた通学路（遊歩道）です。子ども達だけでなく大人にとっても、草津川堤防沿いの車の交通量が多い歩道も無い道を歩かなくて良いので助かります。（文・写真：宮川 博子）



青地第一



青地第一町内会は、現在1,000世帯を超え、さらに拡大の一途をたどっています。町内の皆さんに住んで良かったと思っただけの町づくりを目指し、毎月の評議員会において、運動会・敬老のつどい・ふれあいまつり等の事業実施の他、諸課題について話し合いを行っております。また、草津市で唯一見ることのできる城郭の構えをそなえた青地城跡があります。青地城主は、鎌倉時代から室町時代にかけて、旧志津村はもちろん、草津、大路井、旧治田村一円を治めていたとの歴史があります。その跡地には、現在志津小学校が建っており、裏手の高台には、青地城主が祀られています。最近では、5月末頃になると、近辺でもホテルを見かけるようになりました。まだまだ自然とふれあえるこの町を、これからも守っていきたいと思います。（文・写真：宇野敬造）

青地第二

北川 静里（1841－1902）

数々の史詩を編纂した教育学者

「北川 静里」とは、明治初期から中期にかけて、医療、教育史詩編纂、行政、政治等の各分野で活躍した学者である。草津市立志津小学校の校門の右側に静里の碑が建っている。また、校長室にも画像（写真）が掲げられている。天保12年5月8日、志津村大字部田（現在の青地町）の豪農の家に生まれた。幼少の頃より向学の志、人に優れ、6歳より祖父のもとで家庭教育を受けた。8歳の時に四書（大学・中庸・論語・孟子）を全部暗記して、周囲を驚かせた。62歳で没する。墓碑は無量壽寺（青地第二町内会）にある。〈抜粋：近江の先覚〉（文・写真：奥村 弘）



エメラルドマンション

エメラルドマンションも志津地区に根付いて20年になりました。



当マンションにはエメラルドクラブがありマンション内の集会所にて活動を行なっています。百歳体操では手作りのリストバンドなどを使用するなど創意工夫されながら体操に励んでおられます。

また、滋賀県社会福祉協議会のペットボトルキャップのリサイクル活動に参加しボトルキャップ収集を行っています。

今後も少しでも多くの住人が協力しながら活動を支えていければと思います。（文：古池淳也・写真：田中繁行）

追 分 町

追分町は、一般世帯1,205戸、単身世帯505戸で、今なお住宅開発がされています。また、1町内会に2小学校区があり、全国でも類稀です。そのため地域活動が阻害されています。それでも、健康フェスタ・納涼祭・運動会・文化祭等を開催しています。その他、ふれあいサロン・子育てサロンの福祉活動も開催したり、一斉避難訓練・応急手当訓練の防災活動も積極的に開催しております。隣近所との「絆」を強め、安心安全で住みよい明るい街づくりに、全員一丸となって積極的に取り組んでいます。（文：小林秀夫・写真：高岡昭義）

